

国際関係学学科		教授	鈴木 淳一	大学院の授業担当 有
教育活動				
教育実践上の主な業績		年月日	概要	
1 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)				
1	参加型授業の実施	2006年4月～現在	<p>学生の学習への主体的参加を促すため、学生が主導する模擬国際裁判及び模擬国際会議を毎年開催している(模擬国際裁判については、1997年より専門演習として、また、2001年より講義科目として断続的に開講。模擬国際会議については、2001年より基礎演習又は専門演習として実施。)</p> <p>ここで模擬国際会議とは、現実存在する国際組織や国際会議を想定して、各学生に担当国を割り当て、実際の手続規則に従って会議を運営し、条約案や決議案を採択する教育方法である。また、模擬国際裁判とは、現実又は架空の国際事件を想定して、学生が原告・被告・裁判官等のグループに分かれて、自主的に調査・研究を行い、実際の手続規則に従って、法的主張を競い合う教育方法である。</p> <p>これらの演習又は講義では、学生による積極的な調査や行動が求められ、学生自身が主体的に学ぶことが要求される(たとえば、外国語で書かれた文献の調査・翻訳、関係する国際機関または大使館等での関係者へのインタビュー、英語を使った会議運営等)。</p>	
2	現実社会についてのイメージを学生に持たせるための工夫	2006年4月～現在	<p>現実社会のイメージを学生に持たせることで学生の学習意欲を向上させるため、教員による通常の講義に加えて、学外団体(たとえば、外務省等)の協力を得て講師を大学に派遣してもらい、コラボレーション型の講義展開を行っている。また、専門演習や基礎演習では、各国大使館や地域で活躍するNGOなどを訪問し、関係者への学生によるインタビューやボランティア活動への参加を行った。さらに、関係施設への見学も実施している(たとえば、鹿島コンビナート、東京税関、海上自衛隊、成田空港、羽田空港等)。</p>	
3	外国語の活用	2006年4月～現在	<p>前述の模擬会議では、外国語を活用した講義展開(たとえば、外国語で書かれた資料の活用、英語による会議運営、外国語によるスピーチ等)を行うことで、学生の外国語能力の向上を目指している。</p>	
4	コンピュータ及び視覚・聴覚教材の活用	2006年4月～現在	<p>大教室での講義にあたっては、教員が作成したレジュメや教科書に加えて、コンピュータ及び視覚・聴覚教材を利用した文字・画像・動画データによる教材提示を行っている。これら視覚や聴覚に訴える教材を活用することで、学生は、自らの日常生活からは遠い国際社会を身近に理解することができ、またその記憶の定着を容易に行うことができる。</p> <p>また、大教室の講義では教員から学生への一方的な講義となりがちであるが、授業レポート・システム等を活用することで、講義に参加している数百人規模の学生への個別の情報提供とレポート指導を毎週行った。</p>	
2 作成した教科書、教材、参考書				
1	模擬裁判・模擬会議を紹介したビデオ	2006年～現在	<p>模擬国際裁判や模擬国際会議の様子をビデオで収録・編集し、関係機関や研究者へ配布することで、学生の自尊心を高め、教育効果をあげた。</p>	
2	模擬裁判を記録した冊子	2006年～現在	<p>模擬国際裁判で作成した訴状や判決文を冊子にし、関係機関や研究者へ配布することで、学生の自尊心を高め、教育効果をあげた。</p>	
3	「国際法」・「国際組織法」等のレジュメ	2006年～現在	<p>講義にあたっては、レジュメを作成し、補助教材として活用している。</p>	

国際関係法学科		教授	鈴木 淳一	大学院の授業担当 有
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等				
4 その他教育活動上特記すべき事項				
1	国際法勉強会	2006年4月～現在	外交官試験受験者、大学院受験者又は司法試験受験生を対象とした定期的な答案練習会を、学生の希望に応じて開催している。	
学会等および社会における主な活動(学外の委員、役職等)				
年月日		活動内容		
1996年5月～現在		国際法学会会員		
2002年5月～現在		日本国際連合学会会員		
2008年9月～現在		日本国際保健医療学会		
2010年4月～現在		アジア国際法学会		
		同 日本協会・研究プロジェクトへの助成(2011年度) 「文化遺産の国際的保護:国際法を中心とする学際的アプローチ」(研究代表)		
2012年3月2日		平成23年度厚生労働省船舶衛生検査技術等研修会講師 「国際保健規則(IHR2005)の概要について」担当		
2012年6月1日		平成24年度厚生労働省全国検疫所検疫課長等会議講師		
その他				